

2020年度（令和2年度）

事業報告書

2020年4月 1日から

2021年3月31日まで

学校法人 豊中キリスト教会学園

幼保連携型認定こども園豊中愛光幼稚園

1. 法人の概要

名 称 学校法人 豊中キリスト教会学園（平成元年4月1日法人設立）

代表者 理事長 倉光 弘己

住 所 豊中市末広町1丁目2番28号

電 話 06-6853-9677

FAX 06-6853-9687

設置する学校

住 所 豊中市末広町1丁目2番28号

名 称 幼保連携型認定こども園 豊中愛光幼稚園

役 員

理 事 6名

監 事 2名

評議員 13名

理事会 5回開催

評議員会 3回開催

職 員 28名（常勤 16名 非常勤 12名）

2. 事業の概要

（認定こども園豊中愛光幼稚園）

《教育方針》

キリスト教精神に基づく、自由遊びを中心とした保育を進める。主体性と社会性、創造性と責任感を持った心身ともに調和のとれた子どもに成長するよう導く。

《教育内容》

遊び込みと異年齢保育による子どもたちのつながりの中から、自由に育ち、自由な発想と自ら考えて決める喜び、そして協調性を楽しむ心、神を愛し、人を愛し、自分を愛する子どもに育つように、安全できめ細かい保育と環境作りを行う。

《保育時間及び延長保育》

教育標準時間

1号認定こども

○保育時間 午前9時～午後2時 月曜日～金曜日 土・日曜日休園日

延長保育 午前8時～午前9時、午後2時～午後6時

2号認定こども・3号認定こども

○標準保育時間 午前7時～午後6時 月曜日～土曜日

延長保育 午後6時～午後7時

○短時間保育時間 午前9時から午後5時 月曜日～土曜日

延長保育 午前7時～午前9時、午後5時～午後7時、月曜日～土曜日

《2020年度園児数》

2020年3月31日時点

	0歳児		1歳児		2歳児		クラス 数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
2018年度	1	3	1	10	1	12	3	25
2019年度	1	3	1	10	1	12	3	25
2020年度	1	3	1	10	1	11	3	24
	3歳児		4歳児		5歳児		クラス 数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
2018年度	1	27	1	27	1	26	3	80
2019年度	1	24	1	26	1	25	3	75
2020年度	1	27	1	22	1	26	3	75

《納付金》

保育料 市町村の納税額に応じて、豊中市等市町村が定めた額。

特定保育料 3歳以上クラスの入園者は、月額2,000円（10ヶ月）を施設設備充実費として納入する。

《入園時の費用》

事務手数料 5,000円

《預り保育の内容及び費用》

月～金曜日 午後2時～午後6時、夏冬春休み中の預かりも実施。

2時間 300円

《行事》

春（4月） 入園式、進級式、イースター、花の日

夏 水遊び、デイキャンプ、夏期保育

秋 芋掘り、かがやけ光のこどもたち（運動会）、秋の実り礼拝、

冬 アドベント礼拝、クリスマス礼拝と祝会、お餅つき、芸術鑑賞会、
お店屋さんごっこ

春（3月） 春の訪れを喜ぶとき（ひなまつり）、お別れ会、修了式、卒園式

毎月 誕生会

毎週月曜日 特別礼拝

《施設関係》

敷地面積	763.90㎡	運動場面積	402.95㎡
園舎面積	539.89㎡	構造	RC構造

《設備関係》

防犯で求められる設備の整備、災害時を想定した備品類の整備。

《事業方針とその計画》

幼保連携型認定こども園としての歩みの中、乳幼児期からの質の高い教育・保育の提供がこどもたちの未来の基礎となることを念頭に、ハード面とソフト面の両面から教育・保育環境の整備に取り組みを進めている。特にこども園移行後は、5項目の事業計画をあげて取り組みを推進している。

1. 豊中愛光幼稚園の質の向上に努める
2. 教育・保育環境と質の向上
3. 働きやすい職場環境の整備
4. 計画性を持った子育て支援の実現
5. 施設関係者評価の実施

1. 豊中愛光幼稚園の質の向上に努める

コロナ禍によるいびつな一年の中ではあるが、改めて園の教育・保育の見直しを教職員で行うことができた。キリスト教精神に基づいた人間観・子ども観の共有、異年齢保育の充実、園行事の見直しをすることなど、こどもたちの『今』の育ちのために考えておきたいことを教職員で取り組んだ。今後の見通しの中では、保護者の理解へとつなげる方法・手段を充実していきたいと考えている。

自園の教育・保育の長所を見直すために公開保育の実施を考えていたが、感染拡大防止のため実施することはできなかったが、オンライン研修参加など、各教職員が個々の質の向上にも努めることができた。

2. 教育・保育環境と質の向上

年度末にあたり、園舎の雨漏りの原因が特定され、教育・保育環境改善と安全を守るため計画の変更が必要となった。

3. 働きやすい職場環境の整備

対話を大切にする職場環境を考え、ミドルリーダーの働きなど円滑なコミュニケーションが図ることができている。さらに看護師が働きに加えることができた。

良好な人間関係と労務関係の整備を継続して取り組んでいきたい。

4. 計画性を持った子育て支援の実現

コロナ禍により、地域への働きが不十分となった年である。その中で、キンダー
カウンセラーと2歳児親子教室『うさぎ』の活動は、感染予防を考えながら継続
することができた。

5. 施設関係者評価の実施

2018年度(平成30年度：昨年度)豊中愛光幼稚園の施設関係者評価を実施した。
今後も引き続き評価実施を推進していく。

<収支予算書> 別紙の通り

以 上